



近畿・全国の舞台で向陽生が躍動！

自分が得意なことや興味を持ったことに6年間継続して打ち込める中高一貫校。学習面はもちろん、部活動においても大きな成果へとつながっています。この夏、中学生も高校環境科学科生（卒業生）も、近畿や全国の舞台で大活躍しました。まずは、中学生の活躍を紹介します。

快拳！ 陸上部低学年リレー近畿3位入賞

県総体では大会新で優勝した林昇矢君・宮崎雅貴君・松村泰知君・竹村誉



仁君の低学年リレーチームは、6日、近畿総体でも3位に入賞する快拳を達成しました。決勝では、2位の咲くやこの花中学校と、最後までデッドヒートを繰り広げましたが0.02秒差で惜しくも3位。また、宮崎君は低学年100mで決勝に進み、11秒97のタイムで7位となりました。この経験をもとに、部活内で切磋琢磨しながら、どれだけ記録を伸ばすことができるか。今後、全国レベルでの活躍へと、夢は大きくふくらみます。

中学校水球部全国大会出場！

中学校水球部が所属する「Riega 和歌山」は、近畿大会で3位となり23日に行われた全国JOCジュニアオリンピックカップに出場しました。1回戦は青森のチームに快勝しましたが、2回戦・敗者復活戦では山口県・鹿児島県のチームに惜しくも敗退しました。ここで、全国の壁を肌で実感できたことは、今後の成長に大きくつながることでしょう。主力である中3の部員は7人おり、真っ黒になりながら、日々、高校生に交じって厳しい練習に励んでいます。高校でもインターハイを目指してさらなる躍進を！



中学校理科部 WRO・紙飛行機全国大会へ

8日、本校を会場にWRO 和歌山大会が開催され、ミドル部門



で1年の甲斐春温君・則岡諒宇君のチームが優勝。全国のランキングでも上位に入り、9月に金沢で行われる全国大会への出場を決めました。WROは直接操作をしないプログラミングによる自立型ロボットによる競技です。入学して半年も経たない1年生も、プログラミングをマスターし、このように競技で活躍しています。また、18日に大泉緑地で行われた全日本紙飛行機選手権大会大阪予選で、3年中村凌君が4分を越える大飛行を記録し、岐阜県での全国大会への出場を決めました。他にも、溝上幸太君、保田航平君、鈴木大輝君も全国大会への出場権を得ました。

先輩もすごい！ 高校生の活躍

高校環境科学科の先輩の活躍を紹介します。

中谷君が化学グランプリで日本一！ 小坂さんは銀賞

夏休み明けに、ビッグニュースが飛び込んできました。高校科学分野のオリンピックでもある化学グランプリで高3の中谷剛人君が日本一の大賞に輝きました。また、高2の小坂舞莉亜さんが銀賞を受賞。全国2799人の参加者の頂点に中谷君が、20位以内に小坂さんが入ったこととなります。2年前にも工藤君が生物学オリンピックで金賞（3位以内）を受賞した時も驚きでしたが、今回はそれを上回る快挙。中谷君も小坂さんも、部活は英語ディベート部に所属し、全国大会に出場して活躍していました。決して、化学だけに没頭してきたわけではなく、二人とも化学への好奇心を独学で楽しみながら追究していった結果です。まさに校訓である自彊不息（自ら努めて止まない）。サイエンスViewを掲げる本校にとっては、本当に嬉しいサプライズです。

フェンシング山下君・水球部インターハイ出場 テニス川島さん国体へ！

高校フェンシング部の山下光君（高3）が、県総体エペの部の優勝シインターハイに出場しました。全国では予選リーグを突破しましたが、決勝トーナメントで惜しくも敗れました。山下君は中学時代にパリ世界大会に出場した経験を持ちます。また、水球部は、近畿大会で3位となり、4年連続でインターハイに出場しました。先発メンバーの半数が高3の環境科学科生で、3年間常に主力として活躍し、中1から続けてきた成果が実を結びました。そして、硬式テニス部の川島千鶴さんがインターハイに出場できなかった悔しさを乗り越え、国体県予選では見事優勝。福井国体出場を決めました。

二度目の俳句甲子園

環境科学科生6名（高三4名、高一2名）で結成した向陽高校俳句チームは、県予選で優勝を飾り、毎年松山市で開催される俳句甲子園全国大会に出

場しました。一昨年に続き二度目の出場ですが、今回は自分らで県外にネットワークを広げ、様々な専門家と交流しながら腕を磨きました。大会では熊本県代表相手に初の一勝をあげました。大会ではTV「プレバト」の公開収録もあり、俳句の楽しさを存分に満喫しました。



吹奏楽部・合唱部関西コンクール出場

吹奏楽部は県吹奏楽コンクールで、合唱部は県NHK全国学校音楽コンクールで金賞を受賞し、それぞれ関西コンクールに出場しました。どちらも関西コンクールの常連ですが、当たり前のように県でトップをとるのは大変なことです。常にさらなる高みを目指して練習に励む高校生の背中を見て、中学生も頑張っています。

高校野球部快進撃 和歌山大会ベスト4

7月末、全国高校野球選手権大会和歌山県予選で、向陽高校野球部がベスト4に進出する快進撃を見せました。特に、準々決勝の和歌山東高校との試合は1点を争う好ゲーム。1対1の同点で迎えた8回裏に、江川君（向陽中11期生）のタイムリーヒットで勝ち越し、接戦をものにしました。準決勝で市和歌山に敗れ、甲子園出場の夢は叶いませんでしたが、学校全体が熱く盛り上がりました。今回、レギュラーで、向陽中出身の先輩は、中彌君、影井君、酒井君、江川君がフル出場、代打で秋田君が起用されるなど大活躍でした。



東高校に勝ち、校歌の後応援席へ